

会 議 議 事 録

1	会議名	平成30年度 第2回長岡市図書館協議会
2	開催日時	平成31年2月18日（月曜日） 午後2時から午後3時30分まで
3	開催場所	長岡市立中央図書館 2階 講座室1
4	出席者名	<p>（委員）9名</p> <p>渡邊誠介委員長 淵本紀子副委員長 松本和明委員 八木浩幸委員 渡邊茂夫委員 遠藤悦子委員 北沢一美委員 大川いずみ委員 酒井実通男委員</p> <p>（事務局）11名</p> <p>金澤教育部長 山田館長 梅沢館長補佐 平澤庶務係長 石井奉仕係長 田中文書資料室長 長瀬主査 指定管理者：長谷川統括責任者 渡辺業務チーフ 中心市街地整備室：高頭課長 松尾課長補佐</p> <p>（傍聴人）0人</p>
5	欠席者名	吉原満委員
6	議題	<p>（1）報告事項</p> <p>① 平成30年度の主な事業について ② 大手通坂之上町地区市街地再開発事業について ③ 栃尾地域交流拠点施設（仮称）整備事業について</p> <p>（2）協議事項</p> <p>①平成30年度長岡市立図書館の活動評価（案）について ②平成31年度の運営方針（案）について ③平成31年度の主な事業計画（案）について ④平成31年度図書館活動評価の見直しについて</p>
7	審議結果の概要	<p>議題（1）について</p> <p>報告事項①、②、③について説明があった。</p> <p>議題（2）について</p> <p>協議事項①について、重点事項評価1項目がBからAに修正し、決定した。</p> <p>協議事項②、③、④について事務局提案のとおり決定した。</p>

8 審議の内容	
委員長	<p>議事（１）に入ります。</p> <p>報告事項「①平成 30 年度の主な事業について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長	<p>それでは、平成 30 年度の主な事業について御報告いたします。</p> <p>図書館開館 100 周年という節目の年であり、資料 1 にあるとおり 10 事業を行いました。個々の事業については、実績などは後ほど活動評価の中で説明しますが、委員の皆様からも記念式典や様々な催しに出席いただき、今年度 100 周年の取組として成果が上がったと考えています。設備改修も記載のとおり進めており、また、これ以外でも通常の図書館事業は行っていますが、後ほど、詳しい説明をします。概略は以上です。</p>
委員長	<p>ただ今の説明について、ご質問ご意見ある方はお願いします。</p> <p>100 周年事業として 10 本、かつ通常業務を行っていたので現場は忙しかったと思いますが、充実していたのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>次に、「②大手通坂之上町地区市街地再開発事業について」です。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・中心市街地整備室課長	<p>それでは、大手通坂之上町地区市街地再開発事業について説明します。配付してあります資料 2 は、昨年末の市議会で説明した資料です。</p> <p>再開発事業は、約 1.7 ヘクタールのかかなり広いエリアの事業です。昭和 50 年代から地域で検討がはじまった。それから 40 年、ようやく着手できるようになりました。独立行政法人都市再生機構が施工者で、国土交通大臣の事業認可を 3 月中旬に受けられる見通しです。広大なエリアのため、段階的に建物を建てていきます。互尊文庫は 5 年後に、残りは 7 年後に完成し、再開発が完了します。全部で 4 つの建物、「ながおか町口御門」側が、A-1 街区、その隣が米百俵棟になる A-2 街区、道路を挟んでその隣が B 街区で A-2 街区と B 街区が図書館の機能が入ることになります。その間の道路は、道路として通行機能を残しながら、建築の敷地に取り込む形で建物を一体で使えるようにします。C 街区は駐車場と店舗とします。</p> <p>図書館機能の入る人づくり・学び・交流エリアについて、産業的機能を含めた複合施設です。目標は、①知的創造、②産業人の育成、③産業基盤の強化の 3 つがあり、これらが、長岡市全体のイノベーション</p>

	<p>ションやまちなかのにぎわいにつながっていくと考えています。人づくり・学び交流エリアは、前が大和だった A-1 街区の 3・4・5 階、今の北越銀行の B 街区の 1・2・3 階、真ん中の道路の部分も繋いで全体として一体としていきます。概念図にありますが、一番大事なのは 3 階で、ここに図書館を含めた様々な機能、空間をつくり、上の方に産業関係となります。1 階の入り口ににぎわいの場とし、複合的な施設にしていきたいと考えています。</p> <p>新聞にも出ていましたが、総事業費は 263 億円、市の補助金や床を売ったりして事業として成立させていきます。長岡市の床取得は 70 億円で、その中に NaDeC 機能や産業振興拠点機能を含みます。</p> <p>スケジュールは、平成 30 年度にまもなく事業認可となり、来年度は具体的な建物を建てるための実施設計、また、建物の機能の検討などを 1 年間かけて行います。その後、2020 年度に建物を取り壊し、2023 年度に A-2 街区がオープン。その後、北越銀行が移転した後に、建物をリノベーションし、2025 年度に B 街区もオープンし事業が完了します。</p> <p>産業に寄り添う図書館、市民の期待を集めている施設ですので、ナデックなど他の機能と連携を考えながら、まちなからしい図書館としてどんな本を置いたらいいのかや開館時間など、引き続き皆さんと意見を交わしながら考えていきたいです。</p>
委員長	<p>報告事項ですが、図書館協議会に大きくかかわることなので、ご質問ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>仏つくって魂入れずというのは良くない。現時点で、そうなるのではないかと不安がある。互尊文庫については、今の互尊文庫より床面積を増やすとかではないが、今までよりバージョンアップしなければ意味がないと思う。他には、互尊文庫という名前はどうか、建物はどうか、せつかくの再開発で図書館を入れるので、真面目に考えてほしい。</p>
委員長	<p>具体的なバージョンアップとはどのようなものですか。</p>
委員	<p>まずは、市民のためになるものか。場所がきれいになって、今の互尊文庫の本を持ってきただけではあまり意味がないと思う。かつての互尊文庫は会議所と連携し、企業家が図書館で勉強していた。4 大学 1 高専になることもあり、図書館は文化の殿堂、もっと言えばまちの心臓部だと思うので、若者を大事にし、地域の人も大切に、血の通った図書館にしてもらいたい。</p>

委員	<p>商工会議所のレリーフは、日本で最初の現代美術館、長岡の文化遺産として残してもらいたい。</p>
委員長	<p>大切な話ですので、今後この協議会で意見交換する場が出てくると思いますが、本日はこの事業計画を情報共有する場にしたいと思います。</p> <p>つづいて「③栃尾地域交流拠点施設（仮称）整備事業について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長	<p>それでは、栃尾地域交流拠点施設（仮称）整備事業について説明します。配付してあります「資料 No. 3」をご覧ください。</p> <p>栃尾地域で公共施設が老朽化しているため、再編することとなりましたが、栃尾文化センターの中に栃尾地域図書館が入っています。栃尾文化センターに支所が移転し、栃尾地域図書館は、新しく旧丹佐跡地に建設する交流拠点施設に移転します。図書館の規模の目安は 450 m² となり、現在とほぼ同じですが若干広くなります。蔵書は現在 47,000 冊ですが、約 50,000 冊を予定しています。閲覧席は 50 席を予定しており、より機能的に整備したいと考えています。今はないお話を要望しています。複合施設になりますので、連携して機能的な施設となるようにしたいです。スケジュールは、今後設計・施工を行い、平成 34 年度供用開始の予定です。</p>
委員長	<p>ただ今の説明について、ご質問ご意見はありませんか。</p>
委員長	<p>建物が老朽化して、民間の敷地に複合的な施設を建設し、図書館機能が引越するわけですが、栃尾高校があるので、高校生もより使えるように自習室スペースも充実するとよいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、議事の（2）協議事項に入ります。</p> <p>まず、項目 ①「平成 30 年度長岡市立図書館の活動評価（案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・補佐	<p>「資料 No. 4 平成 30 年度長岡市立図書館の活動評価（案）」については大きく 2 つに分かれております。2 の評価項目の（1）基本評価と（2）重点事項評価です。基本評価については、入館者数や貸出冊数などの数値を前年度と比較し、評価します。重点事項評価は、目的に沿った事業ができているかを評価するものです。3 の評価の方法に記載してありますように、どちらも AA から C までの</p>

	<p>4段階での評価となります。</p> <p>平成30年度の評価項目については、昨年の7月30日に開催した第1回協議会において、事務局が評価項目を提案し、委員の皆様から御意見をいただき決定したものです。</p> <p>御手元の平成30年度活動評価（案）には、事務局が評価したものを記載しています。本日は、この評価に対して委員の皆様から御審議いただき、いろいろな御意見をもとに協議会として評価を決定していただきます。なお、できるだけ審議の時間を確保したいことから、昨年度と同様に、1ページに示してあります6項目の重点事項のうち、3と5については内部評価のみとし、ここでは審議しないこととしております。</p> <p>また、資料にある平成30年度の実績は4月から12月までの9か月分ですが、本年1月から3月までの実績を加えた1年間分の評価については、来年度第1回目の協議会で御報告します。</p> <p>なお、審議の進め方については、委員長から皆様にお諮りいたします。</p>
委員長	<p>それでは、審議の進め方について委員の皆様にお諮りします。</p> <p>最初に、活動評価（案）の6、7ページにあります「基本評価」について御質問や御意見をいただき、評価を行います。次に、8ページ以降の「重点事項評価」の項目ごとに評価を行い、最後に2ページにあります「4番 評価の概要」について御審議をいただくという進め方でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>なお、重点事項3と5については審議しませんので、重点事項評価の最後に内部評価の結果を事務局より報告してください。</p> <p>また、図書館協議会としての意見については、本日皆様から出された御意見を委員長の私が集約する、ということによろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>それでは、最初に「基本評価」について、協議をお願いします。事務局から説明をいただきます。</p>
事務局・奉仕係長	<p>最初に基本評価全体について説明します。6ページをご覧ください。基本評価は前年度の数値と比較し、AA、A、B、Cの4段階で評</p>

事務局・庶務係長	<p>価しています。</p> <p>入館者数は 249,539 人で A ですが、中央図書館は開館 100 周年事業などで微増しています。</p> <p>個人貸出冊数は 1,201,616 冊で A 評価、予約件数は 148,295 件で A 評価でした。29 年度は、西地域図書館が空調工事、中之島地域図書館が雨漏り工事のため休館だったことなどにより微増しています。</p> <p>有効登録者数は 45,738 人、登録率は 16.88%、実登録者数は 32,175 人で B 評価でしたが、長岡市の人口が少しずつ減少していることに伴い減少していると考えています。</p> <p>インターネットアクセス件数は 212,290 件で B 評価については、図書館のホームページのトップページにアクセスカウンターがついていて、ここを通らないと件数が減ってしまいます。</p> <p>中央図書館開館日数は 295 日で昨年度と同じため A 評価、郷土資料受入点数は 2,442 点で AA 評価、窓口対応満足度は中央館でアンケートした結果ですが、0.7 ポイント下がって B 評価、大活字本の所蔵冊数は 6,932 冊で A 評価、新規購入冊数は 27,805 冊、3.1% ですが、これは蔵書冊数に占める新規購入冊数の割合で、本の新鮮度を表している数字です。昨年度より増えたので AA 評価となっています。</p> <p>つづいて、2 の管理運営費について説明します。</p> <p>28、29 年度は決算額、30 年度は予算額ですが、大体同額で推移していますが、うち事業費の項目は施設改修の大きな工事で上がり下がりするものです。</p>
委員長	<p>それでは、ただ今の説明について質問・意見はありませんか。</p>
委員	<p>B は厳しい。下回れば B ということであればやむを得ないが。有効登録者数、登録率、実登録者数は、長岡市の人口が減っている以上、やむを得ないことだと思う。満足度も落ちているがほぼ横並びと言っていい。インターネットの件数が伸び悩んでいるというのは、図書館の注目度が高くないのではないか。それもあって入館者数などがなかなか上がらないと捉えられると、予算が減らされる心配がある。ではどうすればよいかについてはよくわからないけれども、この B は気をつける必要があると思う。</p>
委員長	<p>応援的な発言だと思いますが、評価の決まりとして下回ると B となってしまいが、人口減などを考えると横ばいではないかということですね。</p>

委員	数字を伸ばすための営業活動のようなことはやっているのか
事務局・館長	評価がでて、ほったらかしというのはよくありませんので、この評価が図書館の運営が良くなるような評価にしたいと考えています。評価が実績に結び付くようにしたいと考えているので、評価が出てそれで終わりとは考えていません。
委員長	基本評価については数値で客観的に評価しているので、このままの評価としたいと思いますのですがどうでしょうか。
委員	異議なし。
委員長	<p>ではそうしたいと思います。</p> <p>それでは、次に「重点事項評価」の審議に入ります。</p> <p>8ページ 重点事項評価「1 当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める。」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・奉仕係長	<p>(1) 重点事業の事業別評価について、①から⑤の説明を行い、その後、それらの総括の「(2) 重点事業の総括評価について」を説明します。以降の説明も、同様にします。</p> <p>①貴重資料の公開について、図書館のホームページ内にある「ながおかネットミュージアム」でデジタル化した貴重資料を公開しました。また、図書館が所蔵している、普段公開しない貴重な資料を月ごとにテーマを決めてエントランス展示を行っています。今現在は鈴木牧之を展示しています。評価は、エントランス展示で貴重資料の展示公開を充実させたことなどで、Aとしました。</p> <p>②郷土資料の充実について、郷土資料は図書館の要となっているので、今年度積極的に収集していました。増加数は2,442冊となりました。29年度が少なかったこともありますが、評価はAとしました。</p>
事務局・文書資料室長	次に、③古文書等の歴史資料の収集・保存・活用について説明します。文書資料室では市史双書の刊行、行事の開催、資料の寄贈・寄託など例年通りの活動を行いました。市史双書については、安禅寺御用記を現在編集中です。市史双書を読む会で互尊文庫の歴史に関する講座を実施しました。古文書解読講座については、今まで平日の夜のみでしたが、参加者の声を踏まえて日曜も開催しました。それぞれ希望の日に参加できるようになりました。

事務局・奉仕係長	<p>評価については、文書資料室の一番大事な資料の整理・公開について、長岡開府 400 年など行事が多かったことから進捗が停滞したので、B 評価としました。</p> <p>④歴史公文書の収集・保存・活用について、これは市役所の保存年限過ぎた文書を歴史資料として残す業務です。整理した点数は未確定ですが、昨年度並みの見込みであるため、A 評価としました。</p> <p>⑤長岡市災害復興文庫の収集・整理・保存・活用については、災害が全国的に続いており、経験・教訓を資料から伝えていくための事業です。国立国会図書館の東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」に追加連携したり、市民の皆さんから協力していただき、資料整理ボランティアの方から災害のアーカイブ作りに取り組んでもらったりしています。十日町市でも同様のボランティアが活動しているので交流会や、新潟大学と関連書籍の発行などを行ったことなどから、A 評価としました。</p> <p>事業の総括ですが、貴重資料を有効に展示活用するとともに、話題の本も含め幅広い郷土資料の収集に努めました。また、長岡市災害復興文庫事業を推進し、長岡市資料整理ボランティアとの市民協働、全国の関係機関・団体との連携などをおして、長岡市の災害と復興の経験・教訓を全国発信し反響があったことから、全体の評価を A としました。</p>
委員長	<p>ただ今の説明に対して、ご質問はありませんか。</p>
委員	<p>古文書等の歴史資料の収集・保存・活用について B 評価は厳しいのではないかと。長岡開府 400 年及び図書館開館 100 周年の事業を優先的にやらねばならないと思うが、それもある意味古文書などの歴史資料の活用に含められるのではないかと。そう考えると B ということはないのではないかと。A でよいと思う。</p>
委員長	<p>事務局は、いかがでしょうか。</p>
事務局・館長	<p>委員の方から、そのような意見であれば、私どももがんばっているから、A 評価はありがたいと思います。</p>
委員長	<p>他の委員も異議がないようなので、A 評価に変更を提案します。</p>
事務局・館長	<p>ありがとうございます。それでは、評価理由についても修正したいと思います。</p>

委員長	<p>ボランティアも増えており、長岡の市民力もすばらしい。</p> <p>それでは次に、重点事項評価「2 課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む。」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・奉仕係長	<p>①中高生向け図書館しごと応援事業については、若者向けのビジネス支援や将来の職業を考えるための資料などの充実を図りました。今年度は、視聴覚コーナーにあった DVD をこのコーナーに移したり、新たな資料を追加したりしました。中高生向け広報誌を作成し、広報活動にも取り組みました。以上のことから評価は A としたいと思います。</p> <p>②庁内行政支援レファレンスについては、市の行政に関する調査について、図書館資料を用いて支援していますが、今年度は 22 件の問い合わせがありました。評価は、順調に依頼を受けており、回答も迅速に行っていることから A としました。</p> <p>③子ども連れへのサービスについて、子ども読書活動を推進するために、子育て世代が利用しやすいサービスの提供に努めてきました。中央図書館では、おはなしのへやと大型絵本コーナー等をリニューアルし、子どもたちがより利用しやすい環境づくりに努めました。また、長岡の絵本作家松岡達英さんと諸橋精光さんのコーナーを児童室の奥から窓際の目立つ場所に移動し、親しめるようにしました。ゆっくり絵本を選ぶ時間のない方や絵本選びに迷う方のため、赤ちゃん絵本 3 冊をあらかじめ袋に入れたベビーパックを試行したところ好評でした。</p> <p>地域図書館では、4 月より互尊文庫、西・南・栃尾地域図書館ではおはなし会の後に「おやこタイム」を導入しました。その他の館では、『絵本セラピー講座』など実施し、保護者同士で会話を楽しまれるなど良い反応がありました。以上のことから評価は A としました。</p>
事務局・庶務係長	<p>④図書館の環境整備について説明します。当初計画により、中央図書館 1 階閲覧室の照明の一部を LED に交換し、南地域図書館の空調設備改修工事の設計及び西地域図書館の排水管を改修しました。また、大阪府北部地震によりブロック塀が倒壊したことを受け、互尊文庫のブロック塀を急ぎ改修しました。評価については、経費面の制約はありますが、優先順位をつけ整備ができたので、A としました。</p>
事務局・奉仕係長	<p>(2) 重点事業の総括評価について、利用者のニーズに応じた資料の充実や、施設改修により、利用者の利便性が向上したことにより、A としました。</p>

委員長	ただ今の説明に対して、ご質問・ご意見はありませんか。ベビーパックは、どういうものでしょうか。
事務局・奉仕係長	楽しい本、おすすめの本、赤ちゃん向けにテーマを決めて、どんな本かわかるように透明なビニールの袋に入れて、利用しやすくしています。試行では一定数の利用がありました。
委員長	発案は職員ですか。
事務局・奉仕係長	子ども読書活動推進計画の会議で、アメリカのサービス事例を聞いて、それを参考にして職員が考えました。
委員長	グッジョブですね。
委員	とてもいいと思う。赤ちゃん向けだけでなく、年小児、年中児など幅広く行うといいのではないか。
委員長	それでは、この項目に対しては図書館の評価で良しとしてよいでしょうか。
委員	異議なし。
委員長	次に、重点事項評価「4 長岡市立図書館開館 100 周年を機に、より積極的な広報や各種機関などとの連携を深め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する。」について事務局から説明をお願いします。
事務局・奉仕係長	<p>①長岡市立図書館開館 100 周年記念事業としてたくさんの事業を行いました。まず、所蔵資料展「図書館資料にみる江戸時代の長岡」展と「図書館開館 100 周年展」ですが、図書館で収集している牧野家関係、河井継之助、小林虎三郎、水島爾保布などの資料を一堂に展示することにより、長岡の歴史の奥深さを知ることができたなど、利用者からも好評でした。何年かに一度は所蔵資料を展示する必要があると思いました。</p> <p>開館 100 周年記念式典には委員の皆様にも出席いただき、ありがとうございました。としょかんまつりですが、地域館とも協力して実施し、親子連れも多く来館し好評でした。</p> <p>「画業 50 年 長岡の自然に育まれた松岡達英」展についても、</p>

<p>事務局・指定管理者業務チーフ</p>	<p>子どもたちを含め好評でした。</p> <p>記念講演会「林真理子講演会」については、市内外から申込が多かったのですが、無事開催でき、好評のうちに終了することができました。</p> <p>図書館開館 100 周年記念誌の発行については、現在編集中で、完成しましたら委員の皆様配布したいと思います。</p> <p>評価については、様々な事業を通して、米百俵のまち長岡の魅力と歴史、図書館の活動を発信することができたので、AA としました。</p> <p>次に、②各種機関と連携した事業の実施についてです。</p> <p>市役所他課との連携、会津若松図書館など県内外の他施設との連携、地域館も含め本のテーマ展示を行いました。今年度は特に、新潟アルビレックス BB 選手のおすすめ本のコーナーや認知症ブックフェアが利用者から好評で、新潟日報にも掲載されました。</p> <p>中心市街地整備室と共催で行っている「まちぼん」ですが、以前協議会で実施場所を増やしてほしいという意見がありましたので、今年度は2か所から4か所に増やしました。</p> <p>評価については、様々な連携を図ることができましたので、A としました。</p> <p>③地域図書館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施について説明します。近隣団体、学校、地元商店街等との繋がりをさらに深め、事業連携を積極的に実施する、という事業概要に基づき取り組みを行いました。評価については、各地域図書館が持つ特色資料の関連事業の他、近隣の学校や団体等と連携した事業も積極的に実施しましたので、A としました。</p> <p>具体的な取り組みとしては、2つあげています。まちぼんについては、中心市街地整備室との共催事業です。今年度は中央図書館に替わり互尊文庫で、タニタカフェ・まちなかキャンパス・まちなか絵本館を会場に展示を行いました。</p> <p>としょかん福袋は、年初めに全ての地域図書館での事業として開催しました。幅広い年代の方に楽しんでいただけた事業でした。</p> <p>その他にも、長岡工業高等専門学校、長岡技術科学大学の学生サークル、長岡農業高校、花火関係団体など、各地域館の特色資料に関連する行事などについて連携し事業を行いました。今後も新たな事業にも取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>図書館を使った調べる学習コンクールは応募数の増加という結果となりました。調べ学習に対して、継続して取り組む意欲的な子どもが増えていると感じています。今後の課題としては応募者数増加に伴い運営の見直しを図っていきたいと思います。なお、地域コ</p>
-----------------------	---

事務局・奉仕係長	<p>ンクルの2作品を全国大会に応募したところ、奨励賞と佳作を受賞しました。</p> <p>(2) 重点事業の総括評価については、中央図書館・地域図書館ともに、工夫をこらし、多様な事業展開に取り組み、入館者数や個人貸出冊数の増加につながったことから、評価はAAとしました。</p>
委員長	<p>それでは、ただ今の説明に対して、ご質問・ご意見はありませんか。</p>
委員長	<p>まちぼんに関しては、大手通りの社会実験で、以前では市民センターの前にあったが良かったと思います。本がまちなかに無造作に置いてあって、たまに本を読む人がいて、まちなかでなくても、展開できたら面白い。しえあぼんは、椅子と机と本があることが良い。今回は100周年ということで色んなことをやったというのが大きいと思います。</p>
委員	<p>今回、松岡達英さん、地元の作家を取り上げてもらって嬉しい。布施知子さんも取り上げて、地元の人たちをPRしてほしい。</p>
委員	<p>様々な事業を中央図書館でやっていることは知っている。アルビの地域館に巡回は楽しみ。</p>
委員長	<p>それでは、この項目に対しては図書館の評価で良しとします。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>それでは、重点事項評価5は、後ほど報告いただくこととしまして、重点事項「6 子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む。」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・奉仕係長	<p>第二次長岡市子ども読書活動推進計画の実施について、今年度は秋の読書週間に合わせて貸出冊数を20冊に増加して、期間中に本を借りた児童にはオリジナルしおりをプレゼントするキャンペーンを実施しました。あわせて図書館利用や家読(うちどく)を紹介するリーフレットを作成し、市内の全園児、全児童に配布しました。この期間中は子ども向けの貸出が増えました。このように、今年度、子ども読書活動につながる行事を実施し成果がありましたので、評価についてはAとしました。</p> <p>次に、中高生向け図書館イベントですが、今年度も中高生に図書</p>

	<p>館の興味を持ってもらうため、謎解きゲーム「図書館からの挑戦状」を行いました。今年度は新たに地域図書館でも実施しました。参加者の満足度は高いというアンケート結果でした。評価については、昨年度より参加者数が増加しましたので、Aとしました。ただし、今年度は高校生の参加者がありませんでしたが、これは広報の不足が考えられます。このことを来年度の課題としたいと考えています。</p> <p>次に、米百俵号による特別巡回の実施についてです。米百俵号は、2台で26コース101か所を、それぞれ年間10回巡回しています。その他に特別巡回として、様々な地域のイベントなどに参加しています。今年度は、としょかんまつり、とちびまつり、米百俵まつり、雪しかまつりに参加しました。評価は、さまざまなイベントに参加し、米百俵号や図書館をPRすることができましたので、Aとしました。</p> <p>続きまして、(2)重点事業の総括評価についてですが、様々な行事を通じ、子どもの読書活動の推進につながる活動ができましたので、Aとしました。</p>
委員長	<p>ただ今の説明に対して、ご質問・ご意見はありませんか。</p>
委員	<p>貸出冊数を増やすことなど、子どもたちの欲求に応えてもらったことはありがたく、期間限定であってもまたやってほしい。</p> <p>長岡市学校図書館協議会では、今年も家読にポイントを絞りながら、学ぶ機会を設けた。色んな場面の中で、家読の効果やこんなふうにやるといいですよと方法を伝えたり、リーフレットを配布したりすることなどを、これからもお願いできればと思う。</p> <p>学校は、本に親しむ子と、なかなか本に目が向かない子と二極化といった現状がでてきている。その中で、本に向かわせるためには、メディアをどうコントロールするかが大事になる。メディア以上の楽しみとして、学校で子どもに本と触れ合える機会を提供できるかということが、大きな課題と考えている。図書館の力をこれからも借りながらやっていきたい。</p>
委員長	<p>それでは、この項目に対しては図書館の評価でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>最後に、重点事項「3 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書</p>

事務局・館長	<p>館運営に反映させる。」と「5 勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。」について、内部評価の結果を報告してください。</p> <p>「3 市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる」について説明します。個別事業の①利用者アンケートの実施については、例年夏にアンケートを行っていますが、評価はAとしました。②友の会事業についても、様々な事業で図書館を応援してもらっていますので、Aとしました。また、③ご意見ポストの設置についても、毎月色々な意見をいただきますが、素早く対応していますので、Aとしました。</p> <p>総括評価については、おおむね順調な業務・活動を行い、寄せられた意見にも対応しましたことから、Aとしました。</p> <p>次に、重点事項の5番、勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図るという項目ですが、①外部研修と②職場内研修のいずれについても、様々な研修に参加して職員のスキルアップを図っています。評価については、それぞれAとしました。</p> <p>外部研修については、様々な研修に職員を派遣しています。また、研修に行ってきた後には、内部で全体研修会として、研修の成果を発表する機会を設けています。</p> <p>職場内研修については、講師を外から呼んでくるほかに、内部の職員が講師となることも行っています。</p> <p>最近では、図書館利用者の中にも認知症認知の方が増えてきていて、対応に配慮が必要なケースもあるため、1月の休館日に中央館と地域館の合同研修として、専門の講師をお呼びして認知症サポーター養成講座を行いました。</p> <p>以上のように多方面にわたり、職員のスキルアップを図っています。総括評価についてもAとしました。</p>
委員長	冒頭申し上げたとおり、3と5については審議しないこととしていますが、ただいまの説明について御質問はありませんか。
委員長	認知症の利用者は増えていますか。
事務局・館長	市内全域で、自分が本当に本を借りたのかわからない、本を紛失するケースなどがあります。
委員長	以上で、平成30年度の活動評価につきましては、全ての項目に

事務局・補佐	<p>対しての評価が決まったわけですが、ここで2ページの「評価の概要」について事務局から説明をお願いします。</p> <p>皆様の審議の結果を反映して、全体の活動評価を述べます。</p> <p>基本評価は、評価対象の13項目中8項目がAA、A評価となり、昨年度の2項目を上回る結果となった。B評価は入館者数等がA評価となったことから、昨年度の10項目から5項目へと減少した。また、今年度はC評価はなかった。</p> <p>重点事項評価は、事業別評価の20項目では、AA評価が1項目、A評価が19項目となった。また、総括評価では、すべてがA評価以上であったことから、全体としては、優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている。以上です。</p>
委員長	<p>委員の意見を反映して、1項目B評価がなくなり、A評価に変更となったわけですが、ご質問・ご意見はありませんか。</p>
委員長	<p>それでは、この内容でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>それでは、3ページの図書館協議会の意見については、本日の議論・意見を踏まえ、私と事務局でまとめさせていただきます。</p> <p>次に、協議事項の項目②「平成31年度の運営方針（案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長	<p>運営方針については、変更なく記載のとおりです。重点事項については、アンダーラインの部分が変更点になります。変更点について説明しますが、3番について今年度100周年で各種様々な事業を実施することにポイントがありましたが、新年度については引き続き積極的な広報や各種機関との連携は同じですが、利用者の拡大を図るような事業を展開していきたいという考えから、このようにしています。4番については、第二次長岡市子ども読書活動推進計画が始まっていますが、この計画に基づいて子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組むことを強化して、子ども読書活動の普及に取り組んでいきたいと思っております。5番6番のアンダーラインについては、内部評価ということもあり昨年度と順番を変更したものです。新年度は基本に立ち返り、読書普及活動、資料の収集など基本的な図書館の業務を展開していきたいと考えています。</p>

委員長	ただ今の説明に対してご質問ご意見をいただきます。
委員	河井継之助や堀口大學などの資料がたくさん集まっている。市民の中にも興味がある人がいるので、研究してみませんかと投げてるのも面白いのではないか。こういう資料で勉強会をやってみませんかと地域・公民館に依頼する。アウトリーチに取り組んでみる。
事務局・館長	ありがとうございます。中央図書館で貴重資料を利用した講座もやっていますが、今のご提案も検討したいと思います。
委員	貴重資料については、興味のある人は深く利用すると思うが、一般の図書館利用者は目に触れられないものにはなかなか興味が持てないので、興味を持てるような柔らかいソフトランディングな接し方を考えてもらいたい。それと、私の知っている若い先生が、お祖父さんの遺品整理で図書館の人がみたら貴重な資料を捨てようかなどと言っていた。貴重な資料を図書館が集めているのを一般市民が知っているのとよいのではないか。図書館はどのように貴重資料を集めているのか。
事務局・館長	一般市民の方から問い合わせがあれば資料を見せていただいて、必要なものについて収集保存していますが、なかなか保管場所がない状況です。全ての資料を集めるのは書庫の関係もあり難しいです。
委員	広報してもらおうと嬉しい人は多いと思う。
事務局・館長	文書資料室でもそのような活動を行っていますので、わかりやすく周知していきたいと思います。
委員	4番について、子ども・若者の活字離れ、インターネット、ネット社会でなかなか本を読む機会が減っている。現実の問題として入試が2020年度から筆記、考える力、表現する力を重視することにより大学入試が随分変わる。そういう意味で、中学生、高校生に活字を読んでほしい、読書に親しんでほしいと思う。教育的な観点で小さいうちから親しんでほしい。
事務局・館長	わかりました。
委員長	次に、協議事項の③平成31年度の主な事業計画（案）について

事務局・館長	<p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>1番の子ども読書活動の推進については、記載のとおりです。2番は中央図書館の施設設備の改修で、新年度の予算要求をしたものとなります。地域図書館についても記載の部分について予算要求しています。各事業については、予算議決後のこととなりますが、このように進めていく予定です。</p>
委員長	<p>ただ今の説明に対してご質問ご意見をいただきます。</p>
委員	<p>子ども読書活動推進について、よろしくお願ひしたい。1の④に「教員等へのサポート」という項目がある。活字離れといわれているが、新聞を使った教育、NIEについて、それぞれの学校で取り組み始めているところもあるので、学校がそのような方向で動いていることを理解してもらいたい。様々な新聞が図書館にはあると思うので、それらを活用した学びについて、考えてもらいたい。</p>
事務局・館長	<p>ありがとうございました。</p>
委員長	<p>最近の若い親御さんは新聞を取らないこともあり、親から活字離れが始まっている現状も見受けられるので、このあたりのことは重要です。子どもの裏側に若い親御さんがいて、こちらをターゲットにしなければいけないのかもしれないかもしれません。</p> <p>では、平成31年度の主な事業計画についてはこれでいいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>それでは最後になりますが、協議事項の④平成31年度図書館活動評価の見直しについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・補佐	<p>平成31年度から、図書館活動評価を見直したいと考えています。これまでの前年度数値と比較する方法は、人口減少や資料費の減少、開館日の増減に影響を受けやすいことから、数値目標を設定し、その数値目標に対する達成率を評価の指標とする方法に変更したいと思います。数値目標の設定にあたっては、30年度の結果を踏まえて、図書館がより利用されるよう、適切な数値目標にしたいと考えていますが、来年度の第1回協議会で検討いただく予定です。</p> <p>なお、評価項目については、これまでとの継続性を考え最小限の</p>

	<p>変更にしたいと考えています。</p> <p>ただし、有効登録者数の登録率、実登録者数の登録率、中央図書館開館日数を参考数値に変更したいと考えています。理由ですが、登録率については、それぞれ基になる有効登録者数と実登録者数については目標値を設定しますが、率を算出するにあたり長岡市の人口まで予測することは困難であるからです。また、開館日数については、長岡市立図書館運営規則に基づいて決まりますので、目標設定にはなじまないためです。以上で説明を終わります。</p>
委員長	<p>ただ今の説明に対してご質問ご意見はありませんか。</p>
委員	<p>方向としては異論はない。ただし、図書館以外の部局でPDCAをまわすとき、前年度と比較することが多いと思う。他部局との齟齬の心配はないか。また、数値目標が恣意的と思われないように、設定にあたっては緻密に、実績をみて設定すべきである。</p>
事務局・館長	<p>目標の立て方については、緻密に理屈を持って設定したいと考えています。開館日1日あたりの平均利用数や年齢別の数字などをもとに、また、C評価にならないための簡単な目標設定にはしないなど、工夫していきたいと考えています。</p> <p>他部局とのバランスについては、現在、長岡市の総合計画と同じ評価はありませんが、比べるようなときがあれば考慮したいと思います。</p>
委員	<p>31年度から数値目標にするなら、今後他部局に引っ張られ、元の前年度評価に戻さないようにお願いしたい。</p>
委員長	<p>協議会としては、具体的な数字はまだわからないが、大きな方向はよいということで、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>以上で本日の議事をすべて終了します。皆様の御協力ありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料 別添のとおり</p>	